

7/1～ 札幌の住宅施工会社が不要になった子ども服の回収事業を開始 価格高騰で戸建ての狭小化進む中 “ずっと片付く家”を支援したい

初めまして。私は札幌市で住宅施工会社を経営しております 大進（たいしん）ホーム株式会社 代表取締役 星野 寛一朗（ほしの こういちろう）と申します。この度、不要になった子ども服を回収しリサイクルする取り組みを始めることになりました。住宅をご注文いただいたお客様の新居入居時、さらに入居以降も衣替えなどのタイミングでお子さまが成長して着れなくなった衣類を回収し、子育て支援団体等に寄贈するなどしてまいります。



（左）狭小化が進む北海道の戸建て

（中央）整理収納アドバイザーによる独自の収納設計

（右）新居完成前から収納や片付けの方法をお伝え

昨今、全国的に報じられている土地や建物の価格高騰ですが、国土交通省が行っている「住宅着工統計」の調査結果をみるとこの10年間で北海道の戸建て工事費は戸当たり742万円増加して2,918万円。床面積は2013年の130㎡から一割近く減り118㎡と価格上昇の一方で狭小化が進んでおります。（出典元：国土交通省 住宅着工統計 都道府県別木造持家工事費予定額/木造持家床面積）

そこで今回、私たちは、限られた収納スペースには必要な物だけをしまい、散らからない快適な暮らしを維持して頂きたいと考え、短いサイクルで見直しの必要が生じる子ども服を回収する取り組みを7月1日から始めることにしました。弊社ではかねてより家づくりの段階から収納の不満や後悔をなくすべく、プロの整理収納アドバイザーによる収納コンサルティングで生活スタイルにあった収納の量と設置場所を提案したり、お客様には整理収納アドバイザー2級講座を開講するなどしてまいりました。お客様の約9割以上が子育て世代であり、今回の取り組みが“散らからない暮らし”の維持につながればと考えました。回収した子ども服は子育て支援団体への寄贈やフリーマーケット出店などで必要とされる方に循環させていく予定です。

私自身は2015年に父親から経営を引き継いだ後、持ち家に暮らす人の約3割が収納に何らかの不満を持っている調査結果を目にしました。これまで住宅メーカーの多くが「広い収納スペース」を提供し続けてきたにも関わらず収納の不満がなくならないことを疑問に感じていた頃、偶然、妻が整理収納アドバイザーの資格を取得したことでその理論に触れる機会を得ました。見よう見まねで社長室を片付けてみたところ、驚くほど仕事が捗るようになり、この経験を家づくりにも活かせないかと試行錯誤の末、2019年に整理収納アドバイザー監修・収納サポート付きの注文住宅ブランドを企画、それぞれのご家族に最適な収納量と間取りを提供し続けております。また、現在は従業員34名全員がこの資格を保持しております。今後も地場の住宅施工会社として、居住スペースを圧迫することなく、収納にまつわる課題解決の提案を積極的に行ってまいりたいと思っております。

大変お忙しいとは存じますが、この件につきましてぜひご取材いただき、報道のお力でより多くの皆さまへ届けるきっかけとしていただけたら幸いです。

【本件に関するお問い合わせ先/取材のご対応】

大進ホーム株式会社 広報窓口 掛橋（かけはし）090-2074-3578 ・ 増永（ますなが）
〒007-0803 北海道札幌市東区東苗穂3条1丁目2-1 TEL：011-783-1122
URL：<https://www.taishinhome.com> / Mail：pr@taishinhome.com



会社ホームページ